

## 確認

## 文章の流れをつかもう

「私」の内容を、文章の流れに沿って次のようにまとめました。①～④にあてはまる言葉をあとから選び、記号で答えなさい。

◇女性が督促状の問い合わせに来庁——督促状は私宛てではない。

二重登録されていて消去したデータがあったことが判明。

どちらも彼女自身のデータであり、全く

今のデータを②されたデータと置き換えることを希望。

「私」（市役所の職員）が対応

女性は確かに自分の名前と確認し、安堵。

◇図書館にて——私は本を五冊借りようとするが、貸出の制限を超える。

「私」の存在が二重になって本を借りたと説明される。

=

同じ「私」とはいえ、「私」自身は与り知らぬこと。

貸出データの二重状態を③することを希望。

← 司書が対応

私は、適切な対応が取られたことに④。

ア 消去    イ 満足    ウ 無感動    エ 解消    オ 同じ

## 学習のねらい

- ①場面の設定や登場人物の関係を捉える。
- ②「二重の情報」という記号に対する考え方を捉える。

## 確認

## 主題をつかもう

次のあらすじを読んで、作品の主題としてふさわしいものをあとから選び、記号で答えなさい。

この文章は前半と後半に分けられる。人物という記号の結びつきに焦点が当てられ、データの二重登録が話題となっている。

前半では、二重登録されたデータのうち、消去されたほうが自分についての正しいデータであると主張する女性に対して、主人公は消去したほうの女性のデータを復元することで解決する。

後半では、主人公が図書館で二重になった主人公の貸出データの片方を消去してもらうことで問題を解決し、満足する。主人公は、二重登録された「私」のいずれかが消えても、どちらも「私」だから問題ないと思った。

ア 「私」という記号とデータとの関係について、読者に問いかけている。

イ 「私」という存在が二重になることへの恐怖を読者に投げかけている。

ウ 個人情報データを管理する是非について、読者に考えさせている。

## 参考資料

## 【作者紹介】

三崎重記…一九七〇年。福岡県出身。風刺的な作風に特徴のある小説家。作品に『となり町戦争』『バスジャック』『逆回りのお散歩』などがある。

## 漢字の読み書き

次の線の漢字はひらがなで、カタカナは漢字で書きなさい。

- (1) 督促状が届く     (2) 電車が到着する     (3) 理由を尋ねる  
 (4) お辞儀をする     (5) 特殊任務に就く     (6) 意見が一致する  
 (7) 質問に当惑する     (8) 予定を変更する     (9) 視界を遮る  
 (10) 更に改良する     (11) 慎重に行動する     (12) 疲れが蓄積する  
 (13) 既に終わった     (14) 間髪を容れず言う     (15) 限界を超える  
 (16) 友人にアてて荷物を送る     (17) ゼツミヨウなタイミング  
 (18) 学校でヒヨウシヨウされる     (19) メンキヨシヨウを返納する  
 (20) シヨウサイを説明する     (21) 欲望をオサえる  
 (22) 発言がムジユンしている     (23) 強い意志がカンヨウである  
 (24) フシンに思う     (25) かばんをカカえる  
 (26) 部屋のカタスミ     (27) 産業ハイキ物  
 (28) 兄にレンラクをとる     (29) 漢字をキオクする  
 (30) モハンとなる行動

## 重要な語句

次の言葉の意味を答えなさい。または、その言葉を使った例文を書きなさい。

④	③	②		①	
		交える		照合	
きしかるべ	重複	例文	意味	例文	意味
例文	意味	例文	意味	例文	意味
	ふさわしい。適当な。	演説の内容が重複しないよう打ち合わせる。		組み合わせる。入り込ませる。	計算結果と表を照合する。

### 問題

次の各文の空欄(くうらん)にあてはまる言葉を、「重要な語句」の中から選び、書きなさい。ただし、空欄にあてはまるように言葉を変化させても構いません。

- (1) 上司を  て会議をする。  
 (2)  対応をしてもらいたい。  
 (3) 説明が  していて、無駄が多い。  
 (4) 名前を名簿で  する。

次の文章を読んで、下の問いに答えなさい。

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。  
実際の教材には掲載されておりますので、ご安心ください。

□(1) この文章ではどのような状況が描かれていますか。次の文の□にあてはまる言葉を、文章中から書き抜きなさい。

に登録されている「私」のデータのうち、削除されたほうが、

彼女にとって

の「私」を表すデータだった。

□(2) この文章の「私」と「彼女」はどのような立場にありますか。次の□にあてはまる言葉を、文章中から書き抜きなさい。

・私：

の職員

・彼女：

□(3) —線①「彼女は敵意のこもった視線を落とす」とありますが、このときの「彼女」の心情として最も適切なものを次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 別の人宛ての督促状の支払いを求められて腹が立つ。

イ 印字された名前は本当の自分ではないのでもどかしい。

ウ 自分のデータを勝手に削除するなんて失礼だ。

エ 職員が気持ちを理解してくれないことが悲しい。

□(4) —線②「相手に、問題をともに解決する『味方』として認識させることが肝要だ」とありますが、何のためにこのようにするのですか。「模範的」という言葉を使って書きなさい。

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。  
 実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

35

30

(三崎重記「私」より)

## 読解のコツ

◎場面の設定や登場人物の関係を捉える。

どのような場面であるか、登場人物がどのような人物・立場であるか、登場人物同士の関係性を考えることは、物語の内容を読み取る土台となります。

↓学習のねらい①

場面：「私」が「彼女」の訴えに対応している。

「私」は対応する側の人間で、「彼女」は要望を言う側の人間である。

この文章は、「彼女」が自分の思いを伝えてきたことに対して「私」が行動している、という構図であることを踏まえて、内容を読み取りましょう。

□(5) — 線③「こうした場合」はどのような内容を指していますか。次の「」にあてはまる言葉を文章中から書き抜きなさい。

相手が

場合。

□(6) — 線④「不審げな声」とありますが、このときの「山中」の心情として最も適切なものを次から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 相手の要望を何でも聞き入れる「私」に対する批判。
- イ 忙しいときに無意味な作業はしたくないという不満。
- ウ 同じ字面から真偽を見分けた「彼女」に対する驚き。
- エ 合理性に欠けた無意味な作業を頼まれたことへの当惑。

□(7) — 線⑤「対応」とは、この場合どうすることですか。「復元」、「削除」という言葉を使って三十字以内で書きなさい。


□(8) 「彼女」にとって自分を表す「私」とはどのようなものですか。最も適切なものを次から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 確かに自分であると実感できるもの。
- イ 自分が気に入ったデザインのデータ。
- ウ 感情をもち、今ここに存在する人間。
- エ 役所が作成した自分を証明する情報。

次の文章を読んで、下の問いに答えなさい。

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。  
実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

25 20 15 10 5

□(1) この文章ではどのような状況が描かれていますか。次の文の□にあてはまる言葉を、文章中から書き抜きなさい。

私の

が

になって本を借りたことになっていて、

更に本を借りようとする、貸出の

を超えてしまう状況。

□(2) この文章の「私」と「女性」はどのような立場にありますか。次の□にあてはまる言葉を、文章中から書き抜きなさい。

・私：図書館の

・女性：

□(3) ー線①「まるで私が無理な要求をしているとでもいうように」とありますが、「私」は、司書の女性が「私」の要求をどのように解釈したと感じていますか。簡潔に書きなさい。

□(4) ー線②「模範とされる市民対応」からはほど遠いと言わざるをえない」とありますが、このとき「私」はどのように対応することが「模範」的な対応だと考えていますか。簡潔に書きなさい。

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。  
 実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

（三崎亜記「私」より）

35

30

## 読解のコツ

◎ 「二重の情報」という記号に対する考え方を捉える。

この場面では、「私」の貸出データが「二重」になっていることが主となって物語が進行しています。

↓ 学習のねらい②

「二重になっているのは、データではなく、あなた自身です」

（本文6行目）

「『私』の存在そのものが二重になることもあるだろう」（本文14行目）

「私」はこの事実に対して、取り乱すことなく、冷静に、図書館の司書に  
 対して、自分の要望を伝えていきます。

役所の職員として「私」が対応したとき、「彼女」はどう感じていたか、  
 と対照してみましょう。

□ (5) ———線③「『正当な主張』」とありますが、具体的にどのような内容ですか。  
 文章中から四十四字で探し、初めと終わりの五字ずつを書き抜きなさい。

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

□ (6) ———線④「『正常な状態に戻す』」ことによって、この場合「私」にどのような  
 利点がありますか。最も適切なものを次から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 「彼女」に過ちを認めてもらうことができる。

イ 今日、新たに本を五冊借りることができる。

ウ 今後、本を十冊以上借りることができる。

エ 自分の情報を消去してもらうことができる。

□ (7) 「私」は、自分を表すデータについてどのように考えていますか。「削除」  
 という言葉を使って三十字以内で書きなさい。

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

□ (8) 本文のように、実際に起こるとは考えにくいことでも、登場人物の気持ち  
 に寄り添うことができる理由として、最も適切なものを次から一つ選び、記  
 号で答えなさい。

ア 虚構は現実をモデルにしているから。

イ 現実には虚構の影響を受けているから。

ウ 虚構は現実を理想化したものだから。

エ 虚構は将来、現実になりうるから。



# 私

得点

100点

教科書

P. 30 ~ P. 44

1 次の文の空欄くまにあてはまる言葉をあとから選び、記号で答えなさい。

2点×9 18点

□(1) 督促状が届いた女性は、そこに  ① 名前は自分のものではない、と訴うったえる。調べてみると、 ② データがあり、片方を削除していたことがわ

かった。彼女にとっては、 ③ ほうのデータこそが自分のデータなので

ある。主人公は、同僚に削除されたデータを今のデータと置き換えるように

頼み、女性は  ④ 。

ア 二重登録された イ 削除された ウ 安堵あんどした

エ 頼んだ オ 印字された

□(2) 主人公が  ① で本を借りようとすると、二重になった「私」がそれぞ

れ本を借りており、「 ② を超えてしまうため、 ③ ができない」

と言われた。主人公は、二重になったデータのうちの  ④ を消去しても

らうことで問題を解決し、満足する。主人公は、二重登録された「私」のい

ずれかが消えても、どちらも「私」だから  ⑤ と思った。

ア 十冊の制限 イ 司書 ウ 貸出 エ 問題ない  
オ 提供する カ 市役所 キ 図書館 ク 両方 ケ 片方

2 次の線の漢字はひらがなで、カタカナは漢字で書きなさい。

2点×12 24点

□(1) 財布さいふを買う □(2) 事務所からの督促状 □(3) 特殊な方法

□(4) 変更へんこうする □(5) 髪かみを切る □(6) 新刊しんかんが届く

□(7) 道をタズたずねる □(8) 丁重ていじゆうなおジギ □(9) イツチいつちする

□(10) チクセキちくせきする □(11) ブシヨぶしよが変わる □(12) レンラクれんらくする

3 次のア～カの各文のうち、線の使い方が正しいものすべてを選び、記号で答えなさい。 完全 8点

ア 細かいニュアンスを伝えるのが難しい。

イ 彼は、内心何を考えているのかよくわからない。

ウ よくわからない説明だったので、合点がてんがいった。

エ 無理難題を言われて、困り果ててしまった。

オ 仕事の帰り道、コンビニに寄り添うことにした。

カ いったん戻ってから出直してくる。

4 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

50点

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。  
実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

(三崎亜記「私」より)

25 20 15 10 5

□(1) — 線①「無意味でもやらなければいけない」のはなぜですか。文章中の言葉を使って書きなさい。

10点

□(2) — 線②「彼女は不安そうな面持ち」とありますが、彼女は何が不安なのですか。最も適切なものを次から一つ選び、記号で答えなさい。  
ア 自分の本当のデータが復元できないこと。  
イ 自分の本当の名前が印字されていないこと。  
ウ 市の職員がデータを置き換えてくれないこと。  
エ 面倒な要求に対して、職員が不快に思うこと。

□

□(3) — 線③「念押しした」とありますが、「彼女」はどんなことを「念押しした」のですか。文章中の言葉を使って書きなさい。

10点

□(4) — 線④「相手の言わんとするところに理解を示し、対処法を筋道立て」とありますが、「彼女」に対応するために、「私」はどのように対処しましたか。十字以内で書きなさい。

10点

□(5) — 線⑤「納得して帰ってもらおう」とありますが、「彼女」が納得している様子がわかる部分を文章中から一文で探し、初めと終わりの四字ずつを書き抜きなさい。(句読点も字数に数えます。)

10点

□

□